

# 第 60 回「山形県内家計の消費動向調査」結果

## (令和 3 年 6 月調査)

消費マインドは持ち直しの動きがみられる

### 【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲97.7 (前期比 1.7 ポイント上昇)と、小幅ながら 2 期連続で改善した。内訳は、景気判断指数が▲56.9 (前期比 1.4 ポイント下落)と 4 期ぶりに悪化、暮らし向き判断指数が▲40.8 (前期比 3.1 ポイント上昇)と 2 期連続で改善した。
- **今後の見通し**は、▲90.7 (今回調査比 7.0 ポイント上昇)と引き続き改善の見込みとなっている。内訳は、景気判断指数が▲48.8 (今回調査比 8.1 ポイント上昇)と改善が見込まれる一方、暮らし向き判断指数は▲41.9 (今回調査比 1.1 ポイント下落)と若干の悪化が見込まれている。
- **大きな買い物**への支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」と「海外旅行」は小幅ながら上昇し、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」はほぼ横ばいとなった。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得 (収入の手取り額) が 426 千円と前年同期に比べて 98 千円の減少となった。支出面では支出計が 387 千円と前年同期比で 31 千円の減少となった。その結果、平均消費性向 (家計支出/可処分所得) は 90.8%となり、前年同期に比べて 11.0 ポイントの上昇となった。
- **新型コロナウイルス感染症の生活への影響**について、感染拡大前後における生活必需品の購入や入手頻度の変化について尋ねたところ、「インターネットショッピングで購入する」については、「以前よりも増えた」が前年から 11.9 ポイント上昇して 44.5%となり、「以前も今も (ほとんど) 利用していない」が 11.2 ポイント低下して 14.0%となった。

令和 3 年 6 月  
株式会社フィデア情報総研

## 目次

I.	消費指数（総括）	1
II.	消費指数（内訳）	3
1.	景気判断	3
（1）	景気判断の概況	3
（2）	景気判断の推移	4
2.	暮らし向き判断	5
（1）	暮らし向き判断の概況	5
（2）	暮らし向き判断の推移	6
III.	支出意向	7
（1）	支出意向D Iの推移	7
（2）	支出意向（大きな買い物）の推移	8
IV.	家計簿調査	9
V.	特別調査	11
1.	新型コロナウイルス感染症の生活への影響について	11
（1）	生活必需品の購入や入手頻度の変化	11
（2）	インターネットショッピングによる購入金額の変化	12
VI.	調査の概要	14

## I. 消費指数（総括）

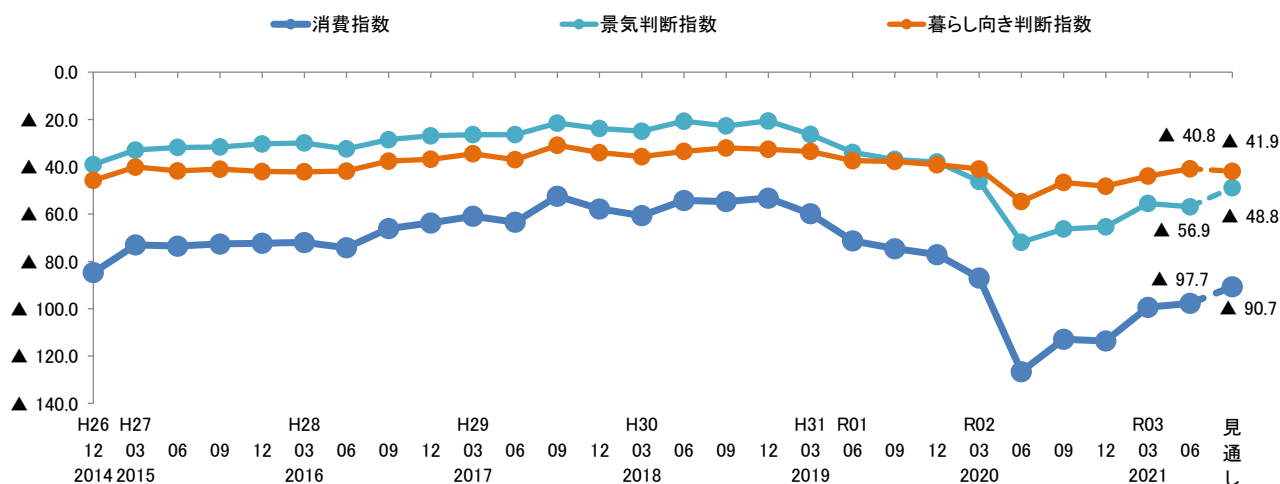
### ～消費マインドは持ち直しの動きがみられる～

消費指数は▲97.7（前期比 1.7 ポイント上昇）と、小幅ながら 2 期連続で改善した。内訳は、景気判断指数が▲56.9（前期比 1.4 ポイント下落）と 4 期ぶりに悪化、暮らし向き判断指数が▲40.8（前期比 3.1 ポイント上昇）と 2 期連続で改善した。

今後の見通しについては、消費指数が▲90.7（今回調査比 7.0 ポイント上昇）と引き続き改善の見込みとなっている。内訳は、景気判断指数が▲48.8（今回調査比 8.1 ポイント上昇）と改善が見込まれる一方、暮らし向き判断指数は▲41.9（今回調査比 1.1 ポイント下落）と若干の悪化が見込まれている。

新型コロナウイルス感染症の影響から先行きを不安視する状況は続いているものの、消費者の間では新しい生活様式への適応が徐々に進みつつあり、消費マインドには持ち直しの動きがみられる。

図表 1 消費指数の推移



#### 【指数の見方】

消費指数は（1）景気判断指数（景気・雇用環境・物価の3項目で構成）と（2）暮らし向き指数（世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成）の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

図表 2 消費指数（内訳）の推移

消費指数

調査時期	消費指数		(1) 景気判断指数			(2) 暮らし向き判断指数						
			①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
28年	6月	▲ 74.2	▲ 32.4	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 18.0	▲ 41.8	▲ 8.5	▲ 11.8	▲ 8.3	▲ 13.2	
	9月	▲ 66.1	▲ 28.5	▲ 7.3	▲ 4.4	▲ 16.8	▲ 37.6	▲ 8.0	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 11.4	
	12月	▲ 63.7	▲ 26.9	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 17.0	▲ 36.8	▲ 7.5	▲ 10.1	▲ 7.5	▲ 11.7	
29年	3月	▲ 60.9	▲ 26.4	▲ 5.9	▲ 4.0	▲ 16.5	▲ 34.5	▲ 7.0	▲ 9.3	▲ 7.1	▲ 11.1	
	6月	▲ 63.4	▲ 26.4	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 20.1	▲ 37.0	▲ 7.0	▲ 10.2	▲ 7.8	▲ 12.0	
	9月	▲ 52.4	▲ 21.5	▲ 5.1	▲ 0.1	▲ 16.3	▲ 30.9	▲ 6.3	▲ 9.0	▲ 5.1	▲ 10.5	
	12月	▲ 57.8	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 0.3	▲ 18.7	▲ 34.0	▲ 7.4	▲ 8.7	▲ 6.2	▲ 11.7	
30年	3月	▲ 60.6	▲ 24.9	▲ 4.3	▲ 0.4	▲ 20.2	▲ 35.7	▲ 7.1	▲ 9.9	▲ 7.0	▲ 11.7	
	6月	▲ 54.2	▲ 20.7	▲ 2.9	0.4	▲ 18.2	▲ 33.5	▲ 6.8	▲ 9.8	▲ 5.5	▲ 11.4	
	9月	▲ 54.7	▲ 22.7	▲ 4.2	▲ 0.8	▲ 17.7	▲ 32.0	▲ 7.0	▲ 9.4	▲ 5.0	▲ 10.6	
	12月	▲ 53.2	▲ 20.6	▲ 4.3	0.6	▲ 16.9	▲ 32.6	▲ 7.0	▲ 8.7	▲ 6.0	▲ 10.9	
31年	3月	▲ 59.8	▲ 26.3	▲ 6.6	▲ 0.6	▲ 19.1	▲ 33.5	▲ 6.5	▲ 9.5	▲ 6.6	▲ 10.9	
	6月	▲ 71.3	▲ 33.9	▲ 8.9	▲ 3.4	▲ 21.6	▲ 37.4	▲ 8.2	▲ 9.8	▲ 7.3	▲ 12.1	
	9月	▲ 74.6	▲ 36.9	▲ 9.8	▲ 5.4	▲ 21.7	▲ 37.7	▲ 9.6	▲ 9.7	▲ 6.8	▲ 11.6	
	12月	▲ 77.1	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 5.6	▲ 22.3	▲ 39.1	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9	
02年	3月	▲ 87.0	▲ 46.1	▲ 15.6	▲ 10.2	▲ 20.3	▲ 40.9	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 12.2	
	6月	▲ 126.6	▲ 71.9	▲ 25.1	▲ 25.3	▲ 21.5	▲ 54.7	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 13.1	▲ 15.2	
	9月	▲ 112.9	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.6	▲ 21.7	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1	
	12月	▲ 113.6	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 23.4	▲ 18.5	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3	
03年	3月	▲ 99.4	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.5	▲ 18.8	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9	
	6月	▲ 97.7	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 17.4	▲ 21.7	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7	
	見通し	▲ 90.7	▲ 48.8	▲ 14.4	▲ 14.8	▲ 19.6	▲ 41.9	▲ 10.0	▲ 9.6	▲ 11.3	▲ 11.0	

(前期差)

調査時期	消費指数		(1) 景気判断指数			(2) 暮らし向き判断指数						
			①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
28年	6月	▲ 2.2	▲ 2.5	▲ 1.8	▲ 0.8	0.1	0.3	▲ 0.2	0.1	0.4	0.0	
	9月	8.1	3.9	1.8	0.9	1.2	4.2	0.5	0.8	1.1	1.8	
	12月	2.4	1.6	1.2	0.6	▲ 0.2	0.8	0.5	0.9	▲ 0.3	▲ 0.3	
29年	3月	2.8	0.5	0.2	▲ 0.2	0.5	2.3	0.5	0.8	0.4	0.6	
	6月	▲ 2.5	0.0	0.7	2.9	▲ 3.6	▲ 2.5	0.0	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 0.9	
	9月	11.0	4.9	0.1	1.0	3.8	6.1	0.7	1.2	2.7	1.5	
	12月	▲ 5.4	▲ 2.3	0.3	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 3.1	▲ 1.1	0.3	▲ 1.1	▲ 1.2	
30年	3月	▲ 2.8	▲ 1.1	0.5	▲ 0.1	▲ 1.5	▲ 1.7	0.3	▲ 1.2	▲ 0.8	0.0	
	6月	6.4	4.2	1.4	0.8	2.0	2.2	0.3	0.1	1.5	0.3	
	9月	▲ 0.5	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 1.2	0.5	1.5	▲ 0.2	0.4	0.5	0.8	
	12月	1.5	2.1	▲ 0.1	1.4	0.8	▲ 0.6	0.0	0.7	▲ 1.0	▲ 0.3	
31年	3月	▲ 6.6	▲ 5.7	▲ 2.3	▲ 1.2	▲ 2.2	▲ 0.9	0.5	▲ 0.8	▲ 0.6	0.0	
	6月	▲ 11.5	▲ 7.6	▲ 2.3	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 3.9	▲ 1.7	▲ 0.3	▲ 0.7	▲ 1.2	
	9月	▲ 3.3	▲ 3.0	▲ 0.9	▲ 2.0	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 1.4	0.1	0.5	0.5	
	12月	▲ 2.5	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.6	▲ 1.4	0.8	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 0.3	
02年	3月	▲ 9.9	▲ 8.1	▲ 5.5	▲ 4.6	2.0	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 0.9	▲ 0.4	▲ 0.3	
	6月	▲ 39.6	▲ 25.8	▲ 9.5	▲ 15.1	▲ 1.2	▲ 13.8	▲ 3.8	▲ 2.0	▲ 5.0	▲ 3.0	
	9月	13.7	5.6	2.1	3.7	▲ 0.2	8.1	1.3	2.6	2.1	2.1	
	12月	▲ 0.7	0.9	▲ 0.5	▲ 1.8	3.2	▲ 1.6	▲ 1.2	▲ 0.5	0.3	▲ 0.2	
03年	3月	14.2	9.9	5.3	4.9	▲ 0.3	4.3	2.1	2.0	▲ 1.2	1.4	
	6月	1.7	▲ 1.4	0.4	1.1	▲ 2.9	3.1	0.6	0.4	1.9	0.2	
	見通し	7.0	8.1	3.4	2.6	2.1	▲ 1.1	0.0	▲ 0.5	▲ 1.3	0.7	

(前年同期差)

調査時期	消費指数		(1) 景気判断指数			(2) 暮らし向き判断指数						
			①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
28年	6月	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 3.5	▲ 2.4	5.3	▲ 0.1	0.3	▲ 0.8	0.7	▲ 0.3	
	9月	6.5	3.1	▲ 1.0	▲ 0.8	4.9	3.4	0.8	0.0	1.0	1.6	
	12月	8.6	3.4	0.6	1.0	1.8	5.2	1.4	1.1	1.3	1.4	
29年	3月	11.1	3.5	1.4	0.5	1.6	7.6	1.3	2.6	1.6	2.1	
	6月	10.8	6.0	3.9	4.2	▲ 2.1	4.8	1.5	1.6	0.5	1.2	
	9月	13.7	7.0	2.2	4.3	0.5	6.7	1.7	2.0	2.1	0.9	
	12月	5.9	3.1	1.3	3.5	▲ 1.7	2.8	0.1	1.4	1.3	0.0	
30年	3月	0.3	1.5	1.6	3.6	▲ 3.7	▲ 1.2	▲ 0.1	▲ 0.6	0.1	▲ 0.6	
	6月	9.2	5.7	2.3	1.5	1.9	3.5	0.2	0.4	2.3	0.6	
	9月	▲ 2.3	▲ 1.2	0.9	▲ 0.7	▲ 1.4	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	
	12月	4.6	3.2	0.5	0.9	1.8	1.4	0.4	0.0	0.2	0.8	
31年	3月	0.8	▲ 1.4	▲ 2.3	▲ 0.2	1.1	2.2	0.6	0.4	0.4	0.8	
	6月	▲ 17.1	▲ 13.2	▲ 6.0	▲ 3.8	▲ 3.4	▲ 3.9	▲ 1.4	0.0	▲ 1.8	▲ 0.7	
	9月	▲ 19.9	▲ 14.2	▲ 5.6	▲ 4.6	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 1.0	
	12月	▲ 23.9	▲ 17.4	▲ 5.8	▲ 6.2	▲ 5.4	▲ 6.5	▲ 1.8	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.0	
02年	3月	▲ 27.2	▲ 19.8	▲ 9.0	▲ 9.6	▲ 1.2	▲ 7.4	▲ 2.5	▲ 2.1	▲ 1.5	▲ 1.3	
	6月	▲ 55.3	▲ 38.0	▲ 16.2	▲ 21.9	0.1	▲ 17.3	▲ 4.6	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 3.1	
	9月	▲ 38.3	▲ 29.4	▲ 13.2	▲ 16.2	0.0	▲ 8.9	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 4.2	▲ 1.5	
	12月	▲ 36.5	▲ 27.4	▲ 13.4	▲ 17.8	3.8	▲ 9.1	▲ 3.9	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 1.4	
03年	3月	▲ 12.4	▲ 9.4	▲ 2.6	▲ 8.3	1.5	▲ 3.0	▲ 1.6	2.1	▲ 3.8	0.3	
	6月	28.9	15.0	7.3	7.9	▲ 0.2	13.9	2.8	4.5	3.1	3.5	
	見通し	22.2	17.5	8.6	6.8	2.1	4.7	1.5	1.4	▲ 0.3	2.1	

## II. 消費指数（内訳）

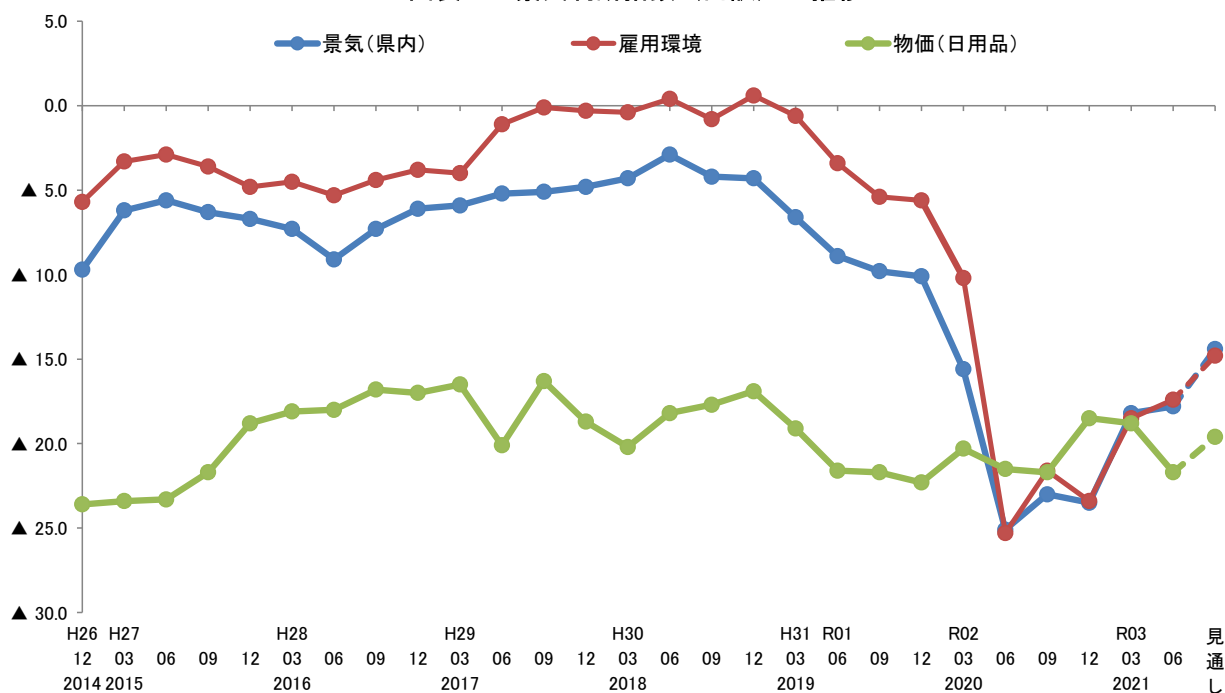
### 1. 景気判断

#### （1）景気判断の概況

景気判断指数は▲56.9（前期比1.4ポイント下落）と4期ぶりに悪化した。景気判断指数を構成する3つの指数については、「景気（県内）」が▲17.8（前期比0.4ポイント上昇）、「雇用環境」が▲17.4（前期比1.1ポイント上昇）、「物価（日用品）」が▲21.7（前期比2.9ポイント下落）と、「景気（県内）」はほぼ横ばい、「雇用環境」は2期連続の改善、「物価（日用品）」は悪化となった。

今後の見通しについては、▲48.8（今回調査比8.1ポイント上昇）と改善が見込まれている。

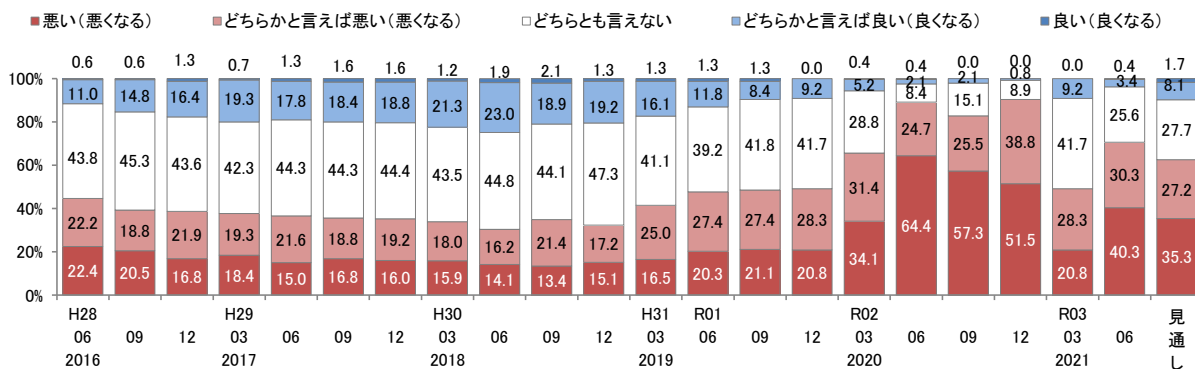
図表3 景気判断指数（内訳）の推移



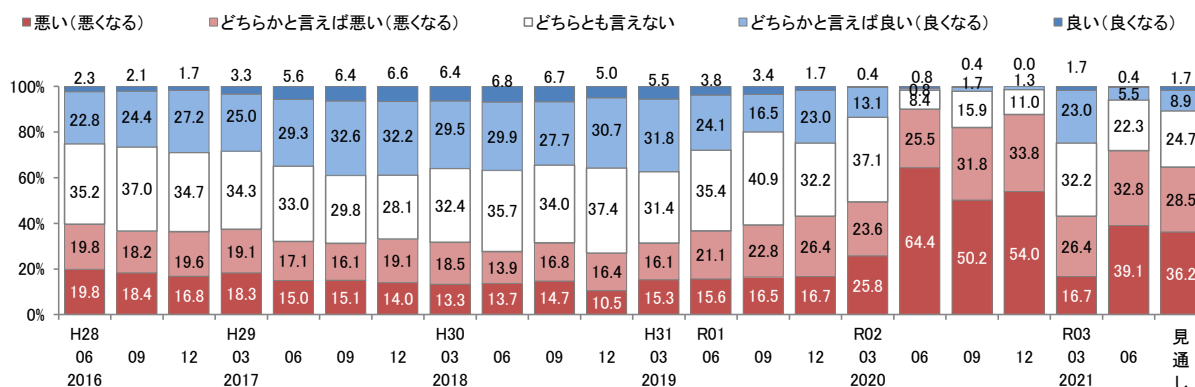
調査時期	景気判断指数				
	景気（県内）	雇用環境	物価（日用品）		
01年 12月	▲ 38.0	▲ 10.1	▲ 22.3		
02年 3月	▲ 46.1	▲ 15.6	▲ 20.3		
02年 6月	▲ 71.9	▲ 25.1	▲ 21.5		
02年 9月	▲ 66.3	▲ 23.0	▲ 21.7		
02年 12月	▲ 65.4	▲ 23.5	▲ 18.5		
03年 3月	▲ 55.5	▲ 18.2	▲ 18.8		
03年 6月	▲ 56.9	▲ 17.8	▲ 21.7		
	(前期比)	(▲ 1.4)	(0.4)	(1.1)	(▲ 2.9)
	(前年同期比)	(15.0)	(7.3)	(7.9)	(▲ 0.2)
03年 見通し	▲ 48.8	▲ 14.4	▲ 14.8	▲ 19.6	
	(前期比)	(8.1)	(3.4)	(2.6)	(2.1)

## (2) 景気判断の推移

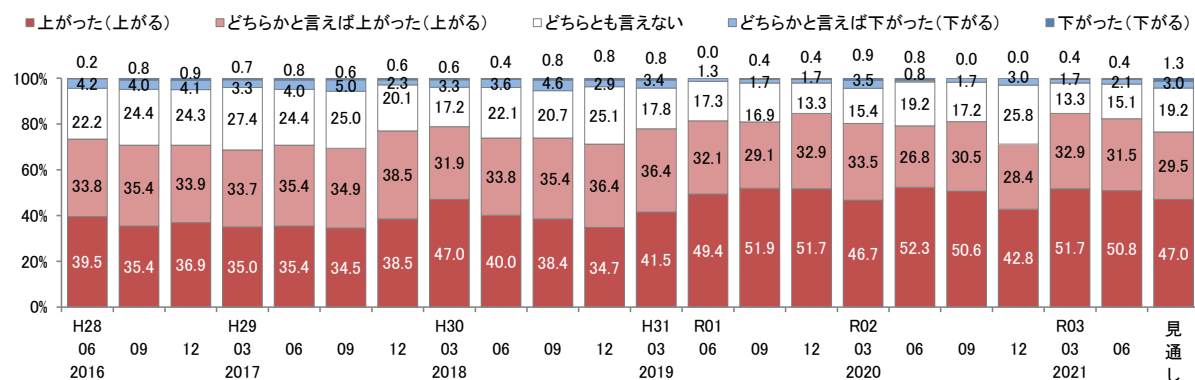
### ① 景気 (県内)



### ② 雇用環境



### ③ 物価 (日用品)



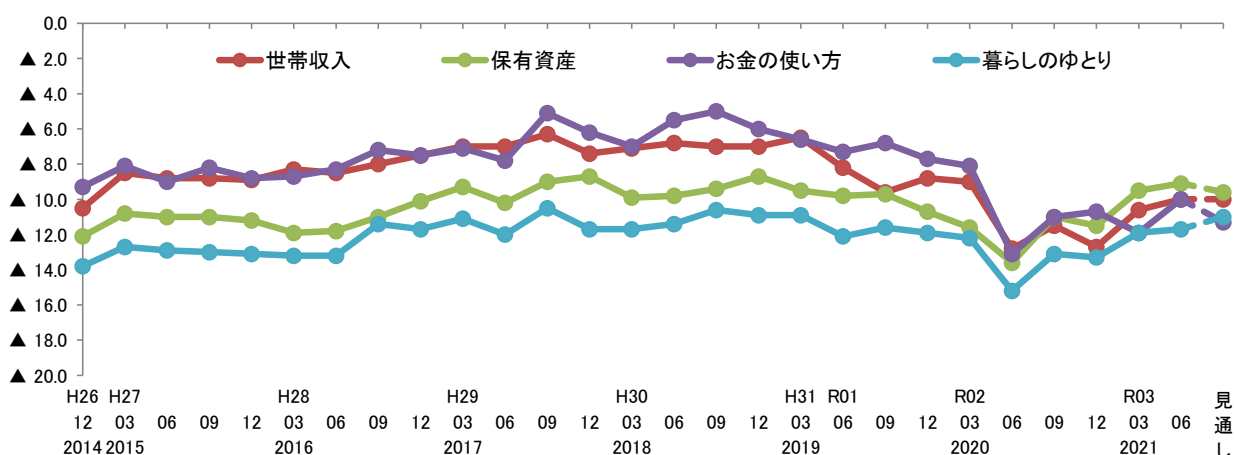
## 2. 暮らし向き判断

### (1) 暮らし向き判断の概況

暮らし向き判断指数は▲40.8（前期比3.1ポイント上昇）と2期連続で改善となった。暮らし向き判断指数を構成する4つの指数については、「世帯収入」が▲10.0（前期比0.6ポイント上昇）、「保有資産」が▲9.1（前期比0.4ポイント上昇）、「お金の使い方」が▲10.0（前期比1.9ポイント上昇）、「暮らしのゆとり」が▲11.7（前期比0.2ポイント上昇）と、「お金の使い方」は2期ぶりの改善、「世帯収入」「保有資産」「暮らしのゆとり」はほぼ横ばいとなった。

今後の見通しについては、▲41.9（今回調査比1.1ポイント下落）と若干の悪化が見込まれている。

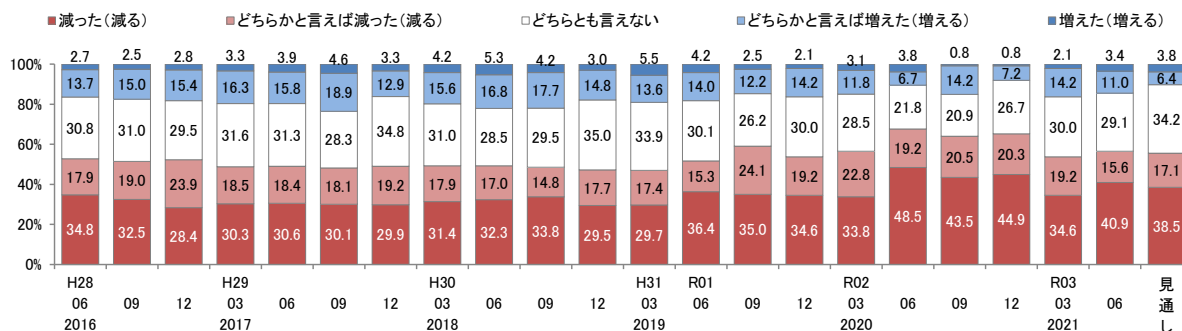
図表4 暮らし向き判断指数（内訳）の推移



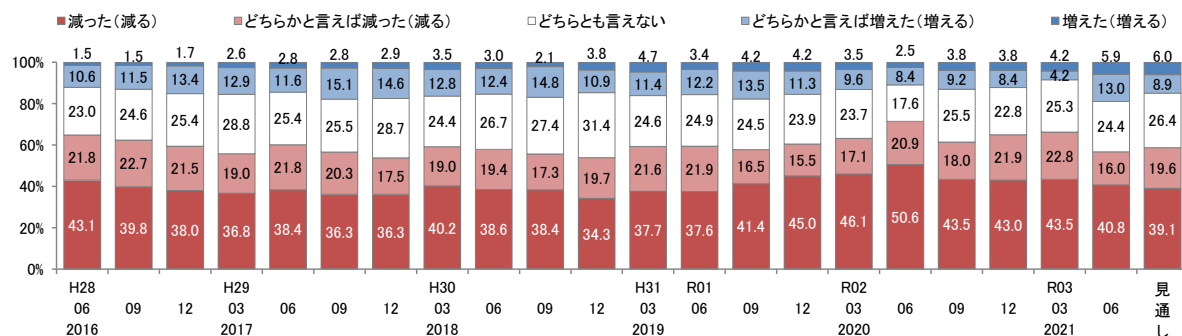
調査時期	暮らし向き判断指数					
	世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり		
01年 12月	▲ 39.1	▲ 8.8	▲ 10.7	▲ 7.7	▲ 11.9	
02年 3月	▲ 40.9	▲ 9.0	▲ 11.6	▲ 8.1	▲ 12.2	
02年 6月	▲ 54.7	▲ 12.8	▲ 13.6	▲ 13.1	▲ 15.2	
02年 9月	▲ 46.6	▲ 11.5	▲ 11.0	▲ 11.0	▲ 13.1	
02年 12月	▲ 48.2	▲ 12.7	▲ 11.5	▲ 10.7	▲ 13.3	
03年 3月	▲ 43.9	▲ 10.6	▲ 9.5	▲ 11.9	▲ 11.9	
03年 6月	▲ 40.8	▲ 10.0	▲ 9.1	▲ 10.0	▲ 11.7	
	(前期比)	(3.1)	(0.6)	(0.4)	(1.9)	(0.2)
	(前年同期比)	(13.9)	(2.8)	(4.5)	(3.1)	(3.5)
03年 見通し	▲ 41.9	▲ 10.0	▲ 9.6	▲ 11.3	▲ 11.0	
	(前期比)	(▲ 1.1)	(0.0)	(▲ 0.5)	(▲ 1.3)	(0.7)

## (2) 暮らし向き判断の推移

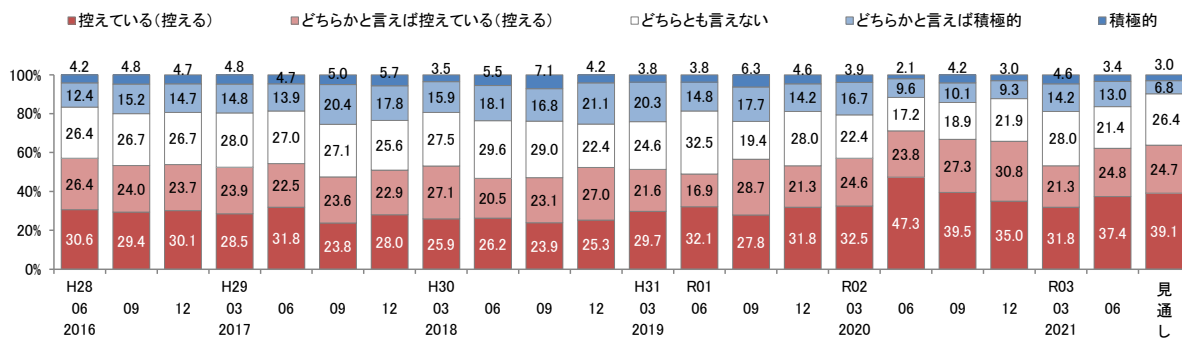
### ① 世帯（勤労）収入



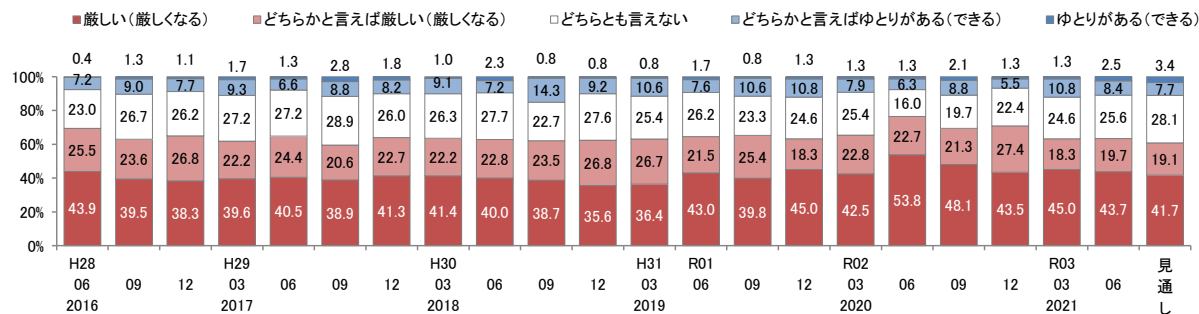
### ② 保有資産



### ③ お金の使い方



### ④ 暮らしのゆとり





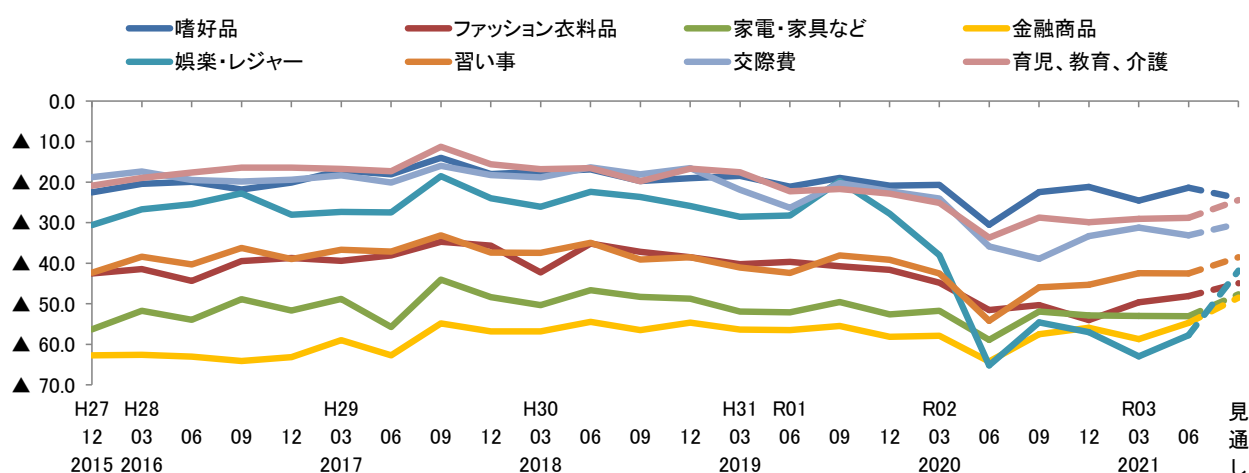
### III. 支出意向

#### (1) 支出意向DIの推移

支出意向DIの平均値は、▲42.4（前期比1.6ポイント上昇）とやや改善した。支出意向DIを構成する8つの項目をみると、「嗜好品」「ファッション衣料品」「金融商品」「娯楽・レジャー」は改善、「交際費」は悪化となり、その他の3項目はほぼ横ばいとなった。

今後の見通しは、▲37.5（今回調査比4.9ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

図表 5 支出意向DIの推移



調査時期	支出意向DI									
		嗜好品	ファッション衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽レジャー	習い事	交際費	育児・教育介護	
02年	3月	▲ 38.1	▲ 20.7	▲ 44.8	▲ 51.8	▲ 57.9	▲ 38.0	▲ 42.6	▲ 24.1	▲ 25.1
	6月	▲ 49.3	▲ 30.5	▲ 51.6	▲ 58.9	▲ 64.3	▲ 65.2	▲ 54.2	▲ 35.9	▲ 33.7
	9月	▲ 43.8	▲ 22.5	▲ 50.4	▲ 51.9	▲ 57.6	▲ 54.6	▲ 46.0	▲ 38.9	▲ 28.8
	12月	▲ 43.7	▲ 21.2	▲ 54.0	▲ 52.9	▲ 56.0	▲ 57.0	▲ 45.4	▲ 33.3	▲ 29.9
03年	3月	▲ 44.0	▲ 24.6	▲ 49.7	▲ 53.0	▲ 58.8	▲ 63.0	▲ 42.5	▲ 31.3	▲ 29.1
03年	6月	▲ 42.4	▲ 21.4	▲ 48.2	▲ 53.1	▲ 54.7	▲ 57.8	▲ 42.5	▲ 33.2	▲ 28.8
	(前期比)	(1.6)	(3.2)	(1.5)	(▲ 0.1)	(4.1)	(5.3)	(0.0)	(▲ 1.9)	(0.3)
	(前年同期比)	(6.9)	(9.2)	(3.4)	(5.8)	(9.6)	(7.5)	(11.7)	(2.7)	(4.9)
03年	見通し	▲ 37.5	▲ 24.0	▲ 45.0	▲ 47.7	▲ 48.5	▲ 41.9	▲ 38.5	▲ 30.3	▲ 24.5
	(前期比)	(4.9)	(▲ 2.7)	(3.2)	(5.5)	(6.2)	(15.9)	(4.0)	(2.9)	(4.4)

#### 【DI値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれDI値を算出する。DI値とは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、算出方法は次の通り。

数値は四捨五入により一致しない場合があります。

例) 嗜好品DI値

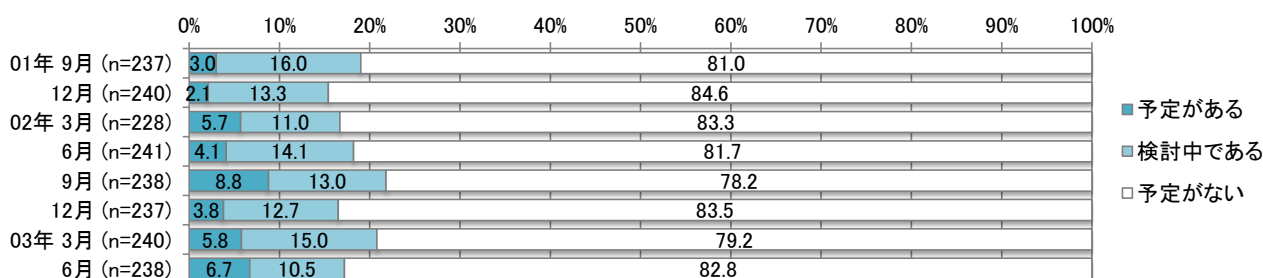
= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合×1.0+「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合×0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合×0.5+「4. 控えている」と回答した世帯の割合×1.0)

## (2) 支出意向 (大きな買い物) の推移

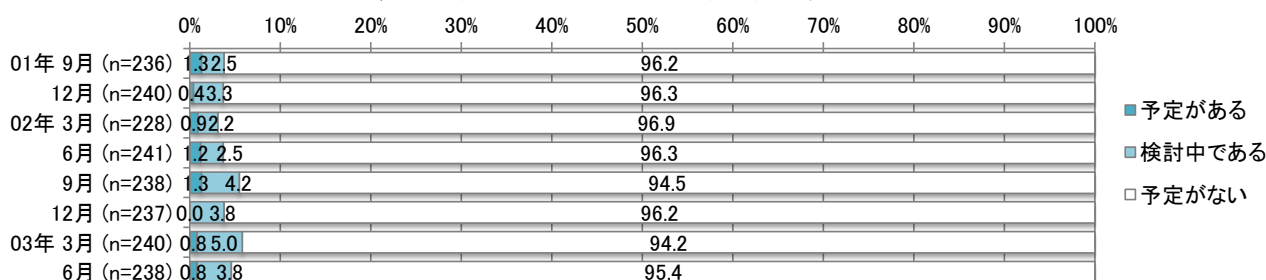
大きな買い物の支出意向をみると、「予定がある」と回答した世帯の割合は、「自家用車 (中古車含む)」が6.7% (前期比0.9ポイント上昇)、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」が0.8% (前期比±0.0)、「住宅リフォーム」が3.4% (前期比0.1ポイント上昇)、「海外旅行」は0.4% (前期比0.4ポイント上昇)と、「自家用車 (中古車含む)」と「海外旅行」は小幅ながら上昇し、「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」はほぼ横ばいとなった。

大きな買い物 (支出) に前向きな世帯 (「予定がある」に「検討中である」を合わせた世帯) の割合は、「自家用車」「住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地」「住宅リフォーム」で低下、「海外旅行」は横ばいとなった。

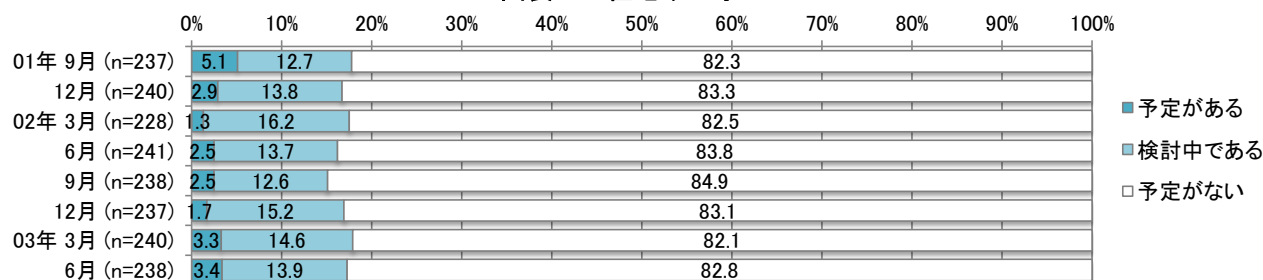
図表 6 自家用車 (中古車含む)



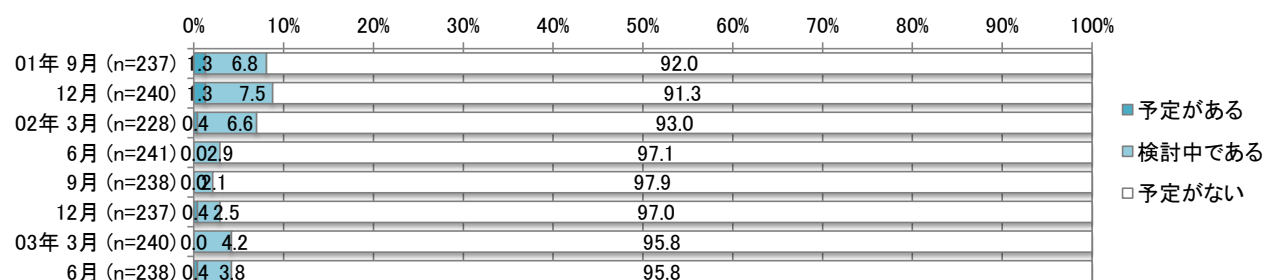
図表 7 住宅 (マンション・中古住宅含む)・土地



図表 8 住宅リフォーム



図表 9 海外旅行

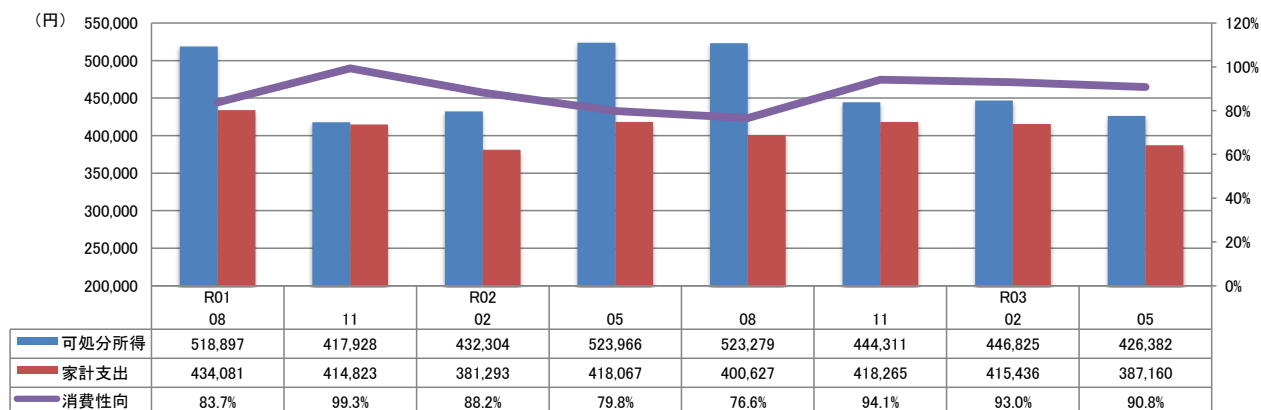


IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿 (237 世帯平均)

調査項目		調査年月				
		02年 5月	03年 2月	03年 5月	(単位: 円)	
					前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	313,603	323,563	321,047	▲ 2,516	7,444
	世帯主の臨時給与《支給額》	1,446	3,442	1,300	▲ 2,142	▲ 146
	A. 世帯主の給与《支給額》	315,049	327,005	322,347	▲ 4,658	7,298
	世帯員の定例給与《支給額》	128,353	126,801	137,097	10,296	8,744
	世帯員の臨時給与《支給額》	888	1,958	0	▲ 1,958	▲ 888
	B. 世帯員の給与《支給額》	129,241	128,759	137,097	8,338	7,856
世帯収入合計 《支給額》 (A+B)		444,290	455,764	459,444	3,680	15,154
収 入	世帯主の定例給与《手取り額》	248,458	253,884	252,955	▲ 929	4,497
	世帯主の臨時給与《手取り額》	1,297	2,676	988	▲ 1,688	▲ 309
	C. 世帯主の勤労収入合計 《手取り額》	249,755	256,560	253,943	▲ 2,617	4,188
	世帯員の定例給与《手取り額》	106,310	105,274	112,894	7,620	6,584
	世帯員の臨時給与《手取り額》	838	1,542	1,266	▲ 276	428
D. 世帯員の勤労収入合計 《手取り額》	107,148	106,816	114,160	7,344	7,012	
世帯勤労収入合計 《手取り額》 (C+D)		356,903	363,376	368,103	4,727	11,200
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付 (老齢、障害、遺族年金)	7,529	38,912	4,127	▲ 34,785	▲ 3,402
	2. 保険給付金 (医療、介護、失業保険)	875	2,415	1,867	▲ 548	992
	3. 各種手当 (児童手当など)	3,930	15,634	6,624	▲ 9,010	2,694
	4. 利息、株式配当、投資分配金	963	1,996	1,303	▲ 693	340
	5. 事業収入 (個人事業、農林水産業など)	831	346	63	▲ 283	▲ 768
	6. 不動産収入 (駐車場、アパート家賃など)	727	5,377	5,257	▲ 120	4,530
	7. 有価証券売却・解約金 (株、投資信託など)	0	993	841	▲ 152	841
	8. 不動産売却 (土地、住宅、マンションなど)	0	0	0	0	0
	9. 中古品売却 (リサイクルショップなど)	1,294	515	812	297	▲ 482
	10. 保険満期返戻金	49,752	1,042	13,457	12,415	▲ 36,295
	11. 保険一時金 (生命保険、損害保険など)	7,603	854	2,658	1,804	▲ 4,945
	12. 相続、贈与、退職金	35,091	21	1,266	1,245	▲ 33,825
	13. 祝金、謝礼金、香典など	517	5,135	300	▲ 4,835	▲ 217
	14. 身内からの仕送り	2,926	2,825	3,860	1,035	934
	15. 借入れ (カードローン、キャッシング)	2,355	1,775	13,018	11,243	10,663
	16. その他	52,670	5,609	2,826	▲ 2,783	▲ 49,844
	E. その他収入 (控除後)	167,063	83,449	58,279	▲ 25,170	▲ 108,784
I. 収入計 (C+D+E)		523,966	446,825	426,382	▲ 20,443	▲ 97,584
支 出	1. 食費 (飲食会費は含まない)	55,674	53,114	53,359	245	▲ 2,315
	2. 住居費 (家賃、駐車場、修繕)	30,504	14,315	18,574	4,259	▲ 11,930
	3. 水道・光熱費 (電気、ガス、上下水道、灯油など)	28,227	36,613	26,659	▲ 9,954	▲ 1,568
	4. 生活用品 (生活雑貨、家事消耗品など)	11,730	11,098	11,674	576	▲ 56
	5. 被服・装飾費 (衣服、アクセサリー等)	7,256	8,816	8,959	143	1,703
	6. 医療・介護・理美容 (通院、医薬品など)	15,243	13,752	14,092	340	▲ 1,151
	7. 交通費 1 (バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	1,136	1,995	2,262	267	1,126
	8. 交通費 2 (ガソリン代)	13,659	15,704	15,363	▲ 341	1,704
	9. 自動車関連費用 (車検、メンテナンス、タイヤなど)	10,572	18,136	12,301	▲ 5,835	1,729
	10. 通信費 (電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	23,280	23,480	23,014	▲ 466	▲ 266
	11. 教育費 (授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	26,653	12,375	23,712	11,337	▲ 2,941
	12. 育児費 (子ども用品、保育園、幼稚園など)	3,549	4,894	4,054	▲ 840	505
	13. 交際費 (飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	7,538	15,492	11,163	▲ 4,329	3,625
	14. 娯楽、趣味 (旅行、レジャー、映画鑑賞など)	2,900	4,836	6,287	1,451	3,387
	15. 習い事 (英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	1,632	2,741	3,441	700	1,809
	16. 高額商品 (パソコン、家電、家具、インテリアなど)	13,422	6,292	5,187	▲ 1,105	▲ 8,235
	17. 金融商品 1 (株、国債、外貨、金など)	2,172	35,130	5,138	▲ 29,992	2,966
	18. 金融商品 2 (投資信託、変額・定額年金保険)	27,721	6,059	8,262	2,203	▲ 19,459
	19. 借入返済 1 (住宅ローン)	31,605	32,815	30,258	▲ 2,557	▲ 1,347
	20. 借入返済 2 (自動車、学資、カードローン)	12,447	13,606	12,453	▲ 1,153	6
	21. 税金、各種保険料支払い (給与天引き以外)	51,655	37,394	52,686	15,292	1,031
	22. 身内への仕送り (学生など)	9,860	9,302	8,876	▲ 426	▲ 984
	23. 小遣い、その他	29,632	37,477	29,386	▲ 8,091	▲ 246
II. 支出計		418,067	415,436	387,160	▲ 28,276	▲ 30,907
平均消費性向 (支出計 ÷ 収入計 × 100)		79.8%	93.0%	90.8%	▲ 2.2%	11.0%
平均貯蓄性向 (1 - 平均消費性向)		20.2%	7.0%	9.2%	2.2%	▲ 11.0%

図表 11 家計の収支と平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得（収入の手取り額）が 426 千円と前年同期に比べて 98 千円の減少となった。収入のうち、「世帯勤労収入合計（手取り額）」は 368 千円（前年同期比 11 千円増加）で、内訳は、「世帯主の勤労収入合計（手取り額）」が 254 千円（前年同期比 4 千円増加）、「世帯員の勤労収入合計（手取り額）」が 114 千円（前年同期比 7 千円増加）であった。「その他収入（控除後）」は 58 千円（前年同期比 109 千円減少）で、内訳をみると、増加額の大きな項目は「借り入れ（カードローン、キャッシング）」（前年同期比 11 千円増加）となり、減少額の大きな項目は「その他」（前年同期比 50 千円増加）、「保険満期返戻金」（前年同期比 36 千円減少）、「相続、贈与、退職金」（前年同期比 34 千円減少）となった。

支出面では、支出計が 387 千円と前年同期比で 31 千円の減少となった。内訳をみると、減少額の大きな項目は「金融商品 2（投資信託、変額・定額年金保険）」（前年同期比 19 千円減少）、「住居費（家賃、駐車場、修繕）」（前年同期比 12 千円減少）となった一方、大きく増加した項目はなかった。

この結果、平均消費性向（家計支出/可処分所得）は 90.8%となり、前年同期に比べて 11.0 ポイントの上昇となった。

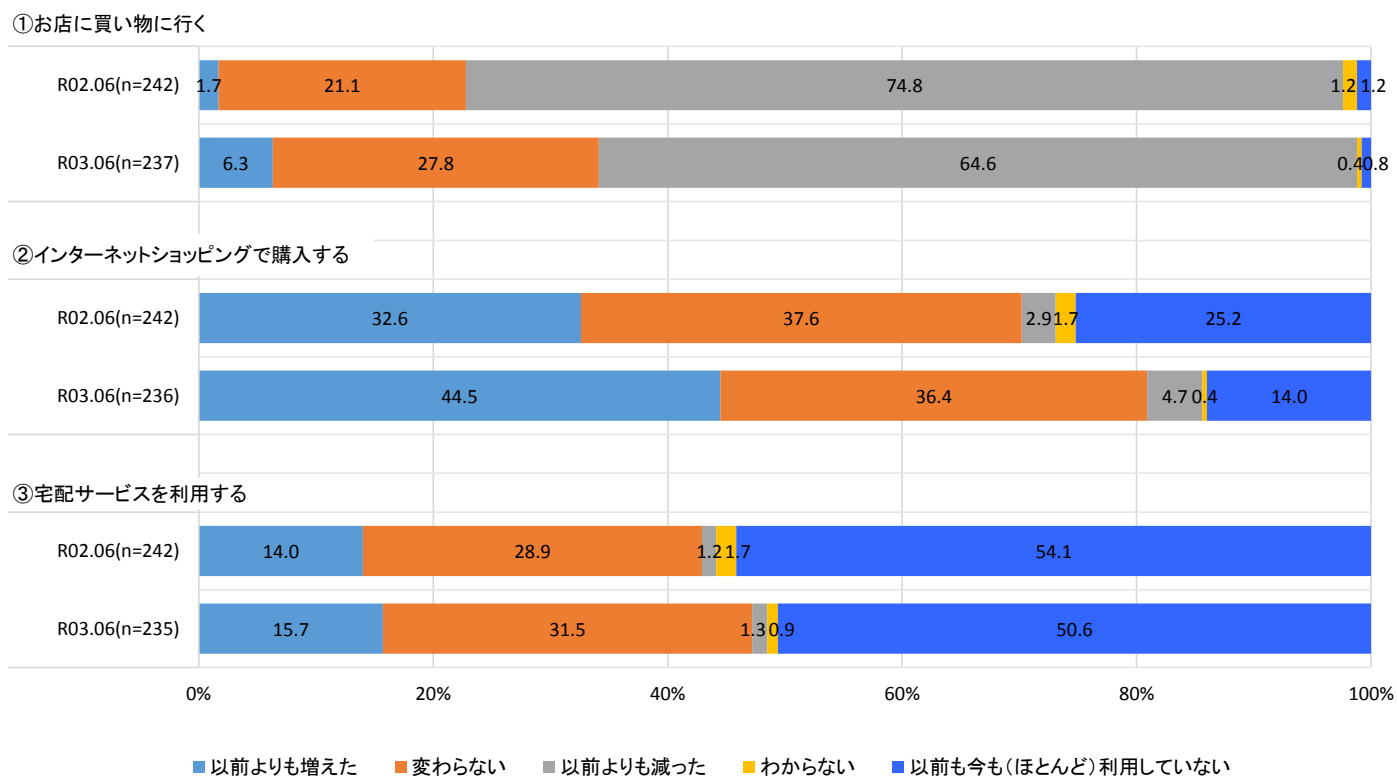
## V. 特別調査

### 1. 新型コロナウイルス感染症の生活への影響について

#### (1) 生活必需品の購入や入手頻度の変化

新型コロナウイルス感染症の感染拡大前後における生活必需品の購入や入手頻度の変化について尋ねたところ、「①お店に買い物に行く」は、前年同様「以前よりも減った」（前年比 10.2 ポイント低下）が最も高く 6 割以上を占めている。一方、「②インターネットショッピングで購入する」については、「以前よりも増えた」が前年から 11.9 ポイント上昇して 44.5%となり、「以前も今も（ほとんど）利用していない」が 11.2 ポイント低下して 14.0%となった。「③宅配サービスを利用する」は、「以前よりも増えた」が 15.7%（前年比 1.7 ポイント上昇）となり、前年とほぼ同じ水準となった。

図表 12 生活必需品の購入や入手頻度の変化

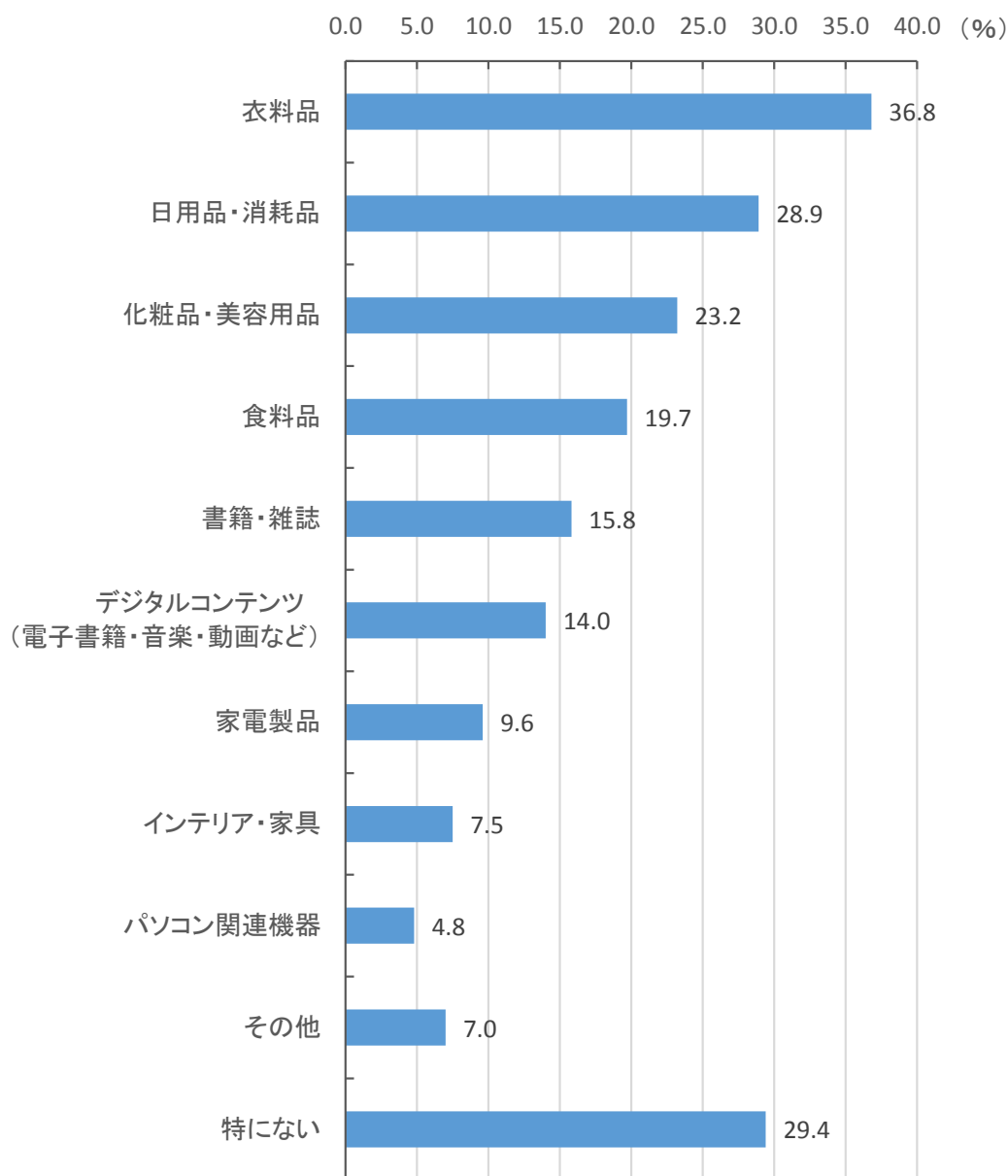


## (2) インターネットショッピングによる購入金額の変化

1年前（新型コロナウイルス感染拡大初期）と比較して、インターネットショッピングによる購入金額が増えた品目を尋ねたところ、「衣料品」が 36.8%と最も高く、次いで「日用品・消耗品」（28.9%）、「化粧品・美容用品」（23.2%）と続いている。日々の暮らしの中で利用頻度の高い生活必需品については、新型コロナウイルスの感染防止対策として店舗に赴いての購入を控え、インターネットショッピングによる購入も活用している現況がうかがえる。

また、「特にない」は 29.4%となり、約 3 割は感染拡大前後でインターネットショッピングの利用状況に変化はないという結果になった。

図表 13 インターネットショッピングによる購入金額が増加した品目（複数回答）



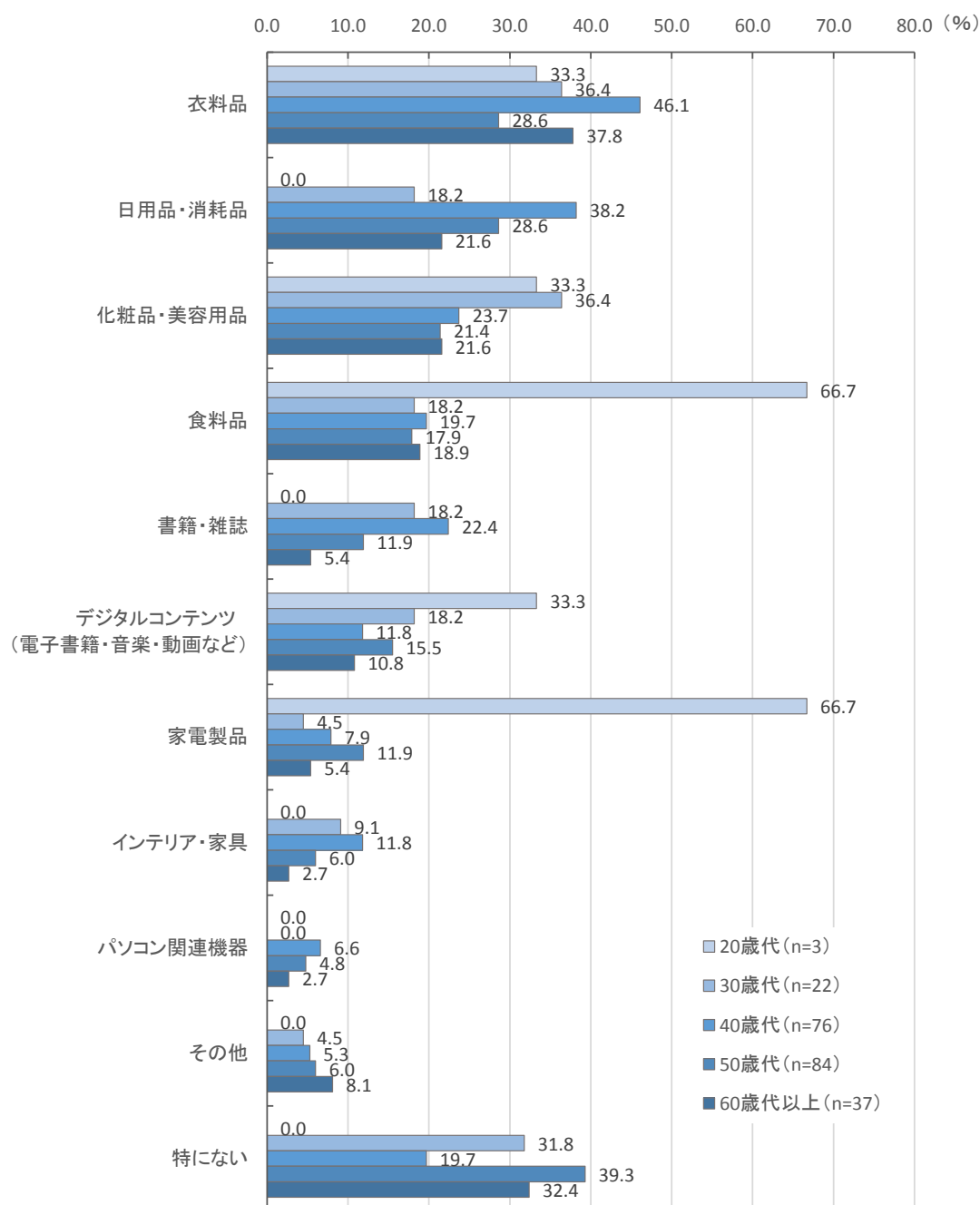
(n=228)

次に、世帯主の年齢別にインターネットショッピングによる購入金額が増えた品目をみると、すべての年代で「衣料品」が第 1 位（30 歳代は同率 1 位として「化粧品・美容用品」、50 歳代は同率 1 位として「日用品・消耗品」となっており、全体で上位 3 項目だった「衣料品」「日用品・消耗品」「化粧品・美容用品」は、年齢別にみてもすべての年代で同様に上位 3 項目に入っている。なお、40 歳代は「衣料品」で 46.1%、「日用品・消耗品」で 38.2%と他の年代よりも高い割合となっている。

「特にない」と回答した割合は、40 歳代が 19.7%と最も低くなった一方、50 歳代で 39.3%と最も高く約 4 割を占めた。

(20 歳代は回答数が少ないため、グラフへの結果の掲載にとどめる。)

図表 14 世帯主の年齢別・インターネットショッピングによる購入金額が増加した品目（複数回答）



## VI. 調査の概要

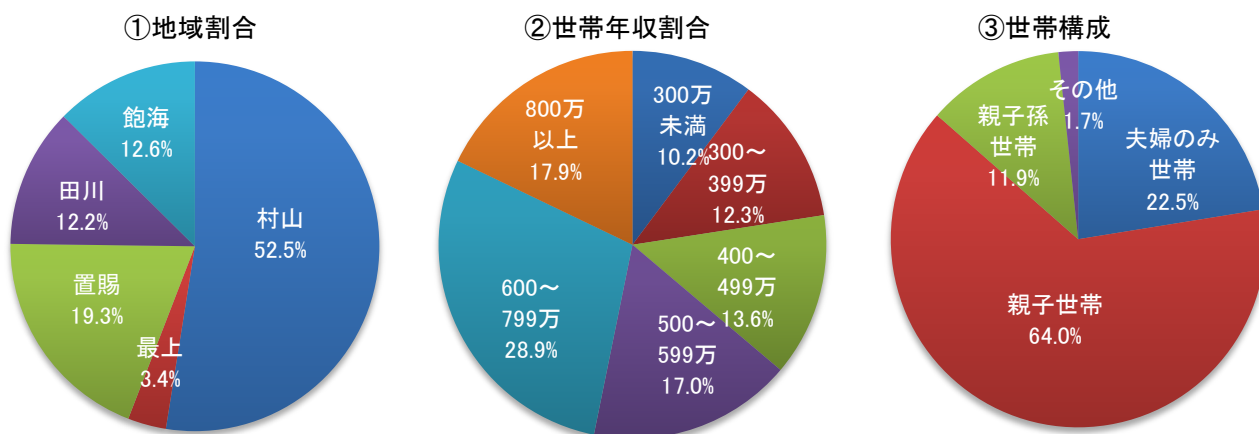
### 1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の内容

- ◆ 郵送およびインターネット調査専用モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：253 世帯 有効回答数：238 世帯 回答率：94.1%

### 3. 回答モニター属性



### 4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者（サラリーマン）世帯（世帯人数 2 人以上の世帯）

### 5. 調査期間

- ・令和 3 年 6 月 1 日（火）～15 日（火）

#### <お問い合わせ先>

株式会社フィデア情報総研  
 リサーチ&コンサルティング事業本部 熊本 均 / 手塚 綾子  
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F  
 TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038  
 E-mail : kenkyuu@fir.co.jp URL : https://www.fir.co.jp/